

20年の歴史と共に すすめ つなげ いずみっこ

幼児部副園長 佐藤 まゆみ

通勤で駅まで向かう道すがら、街路樹が色づいてきたり落ち葉が見られるようになってきたりしました。また、民家の庭の柿の木は、枝が折れそうなほど実をたくさんつけて、秋の深まりを感じます。

10月15日の親子運動会は「20年の歴史と共に すすめ つなげ いずみっこ」をテーマに行われました。このテーマは、開園20周年を記念して、ゆり組に募り、子どもたちと決めたものです。親子運動会に向けては、友達とのつながりを感じ、こども園20歳の誕生日をお祝いする気持ちをもちながら活動してきました。そして、親子運動会当日は、お家の人と一緒に運動会ができること、自分たちが頑張ってきたことを披露することをとても楽しみにしていました。

もも組の親子プログラムでは、親子で動物になってお花畑で花を摘み、その花をパネルに貼り付けていくと、いずみこども園の園章が出来上がりました。ばら組の親子競技は「紅白オセロ」。BGMの『おさかな天国』は、いずみこども園が開園した2002年の大ヒット曲です。

ゆり組は、7月に東京バトン協会から講師を招き、演技鑑賞と体験活動を行いました。華麗な演技に魅了され、自分たちもお手製の新聞紙のバトンを使用し、技やダンスを教えてもらいました。その日から、何回も何回も技を極めるまで玄関ホールで練習する姿が見られていました。大好きになったバトンを持って、『おめでとうを100回』を20周年のお祝いの曲に選び、リズム表現をすることに決めました。表現の内容は、自分たちでやりたいと思っていた技を取り入れました。

2人組になったり、チームで集まったり、初めは、息が合わずうまくいきませんでした。どうしたら成功するかみんなで考え、諦めずに何度もチャレンジして、運動会当日は大成功になりました。リレーにも真剣に、取り組んでいました。「リレーでバトンを落としたらどうしよう」「明日はタイムが縮まるかな…」など、ご家庭でも話していたようです。こちらも見事に気持ちをつなげることができました。その他にも、開会・閉会の言葉や司会、体操や歌の代表など、一人一人に役割があり、ドキドキすることもありましたが、仲間と力を合わせることの楽しさを感じながら頑張りました。どのクラスも子どもたちの成長が見られました。さらに、今年は特別なことがありました。それは、20周年記念のピカレンジャーTシャツを着て参加したことです。ピカレンジャーは、いずみこども園のオリジナルのヒーローです。この日はみんなでヒーローになって、笑顔もたくさん見られました。保護者の皆様には、参加人数の制限や感染症対策へのご理解とご協力をいただきまして、心より感謝いたします。ありがとうございました。

11月4日は、開園20周年を祝う会を行います。ゆり組がお祝いのプログラムを担います。ゆり組の活躍が楽しみです。